

大切なのは まず三日間の 備えです

《地震に備えて》

救援が来たり、電気・水などが復旧したりするまで地震発生からおよそ3日間が必要です。

3秒

- 地震だ！**
- 落ち着け！
 - 身を守れ！
 - 火を消せ！
 - 玄関を開けろ！



1～2分

- 〔がけ崩れなどの危険が予想される地域はすぐ避難〕
- 火元を確認！
 - 家族は大丈夫か！
 - 靴を履く！
 - 非常持ち出し品！



3分

- みんな無事か？
- 近くに火は？
- 〔大声で知らせろ！消火器を使え！バケツリレーだ！〕
- 余震に注意！



5分

- ラジオをつけろ！
- 〔地域FM局を有効活用〕
- 〔※FMアップル76.5MHz〕
- デマに惑わされるな！
- 電話はなるべく使わない！
- 車で逃げるな！
- ブロック塀、ガラス、がれきに注意！



5～10分

- 子供を学校に迎えに！
- ガス栓を閉めろ！
- ブレーカーを切れ！
- 行き先メモを玄関に！
- ブロック塀の倒壊や自販機の転倒、看板やガラスの落下に注意！



10分～数時間

- みんなで消火活動！
- みんなで救出活動！
- 〔消火・救出が困難な現場は消防署などへ通報！〕
- 簡単な手当ては自分で！



～3日

- 生活必需品は備蓄で！
- 〔水・食料・ラジオ・懐中電灯・常備薬など〕
- 市の広報に注意！
- 壊れた家に入るな！
- 無理はやめよう！
- 我慢と助け合い！



▲救護訓練の様子

地域では町内会単位で結成されている自主防災組織が、防災に取り組んでいます。日ごろから地域で防災訓練を行ったり、いざというときには地域が中心となって救助やけが人の手当て、避難誘導、二次災害の予防に努めたりするなど重要な働きをしています。自主防災組織を結成している月寒地区四丁目親和会町内会は、防火・防災活動に積極的で、防火・防災に関するモデル地区に選定されました。モデル地区では、火災予防、救急事故対策、地震災害対策など消防行政全般にわたる活動を重点的に行い、防災意識の向上を図っています。四丁

地域での取り組み

- お気軽にご相談を**
- 区役所・消防署は、地域の防災活動に対してさまざまな支援を行っています。
 - 自主防災組織の結成・運営に関すること
 - 防災資機材の助成
 - 防災リーダー研修会
 - 区役所総務企画課交通防災・施設担当
 - ☎(822)2400内線252
 - 防災訓練に関すること
 - ☎豊平消防署
 - ☎(852)2100



▲バケツリレーでの消火訓練

このように各地域の自主防災組織は、防災訓練などを通じて地域の安全のための啓発に努めています。

目親和会では、防災訓練に毎回100人以上が参加し、常に防災活動の充実を目指しています。6月27日には、防災訓練を実施し、災害を想定して、住民自らが初期消火、応急手当などをその場で判断し対応する防災対応型の訓練を行いました。

